

## 参考資料

平成27年12月15日

B証券会社(以下「当社」という。)に対する証券取引等監視委員会による検査の結果、法令違反の事実が認められたとして、平成27年12月8日、行政処分を求める勧告が行われました。

当該勧告を受けたことから、本日(12月15日)、当社に対し、金融商品取引法第51条の規定に基づき、以下の行政処分を行いました。

## 1. 勧告の事実関係

### (1) 法人関係情報の管理に不備がある状況

当社においては、当社に所属するアナリスト(以下「当社アナリスト」という。)が上場会社に関する情報を顧客に提供する場合、

ア. 当社所定の形式のレポート(アナリストレポート)として提供しているほか、

イ. 当社アナリストから直接又は営業員を介して電子メールや電話等によっても提供している。

今回検査において、当社アナリストが上場会社から取材等で取得した情報に係る管理の状況について検証したところ、以下の問題が認められた。

a 当社は、上記ア. を行うに当たり、当該アナリスト自身の判断によって報告等が行われない場合、コンプライアンス担当者等による法人関係情報該当性の検討が必ずしも実施されないこととなっていた。

b 当社は、上記イ. を行うに当たり、法人関係情報該当性の検討が実施されないこととなっていた。

その結果、当社アナリストが上場会社に係る非公表の情報を取得した多数の事例(下記(2)の事例を含む)において、法人関係情報該当性の検討が行われないまま、当該情報の内容が顧客に提供されていた。

当社における上記(1)のような法人関係情報の管理の状況は、法人関係情報に係る不公正な取引の防止を図るために必要かつ適切な措置を講じていないと認められ、金融商品取引法第40条第2号に基づく金融商品取引業等に関する内閣府令第123条第1項第5号に該当するものと認められる。

### (2) 法人関係情報を提供した勧誘

平成26年12月頃、当社株式調査部のアナリストは、上場会社であるA社に対する取材において、公表前の四半期の業績に関する法人関係情報(以下「本件法人関係情報」という。)を取得した当日に、営業を担当する当社職員21名及び1顧客に対し、電子メール等によって本件法人関係情報を伝達していた。

そして、本件法人関係情報の伝達を受けた当社職員のうち2営業員が同日中に、少なくとも上記1顧客を含む3顧客に対し、本件法人関係情報をA社から公表される前に提供してA社株式の売買の勧誘を行っていた。

当社における上記(2)のような株式の売買を勧誘する行為は、有価証券の売買その他の取引等につき、顧客に対して法人関係情報を提供して勧誘する行為と認められ、平成26年法律第44号による改正前の金融商品取引法第38条第7号に基づく金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第1項第14号に該当するものと認められる。

## 2. 行政処分の内容

### ○業務改善命令

(1)再発防止策を策定し、これを確実に実施・定着させること。

(2)策定した再発防止策に係る実効性の検証を行うこと。

(注)検証の結果、不十分な項目があった場合には、その理由及びそれに対する改善方針について報告すること。

(3)全社的な法令等遵守意識を醸成し、法令等遵守に取り組む経営姿勢を明確化するなど、経営管理態勢・内部管理態勢の充実及び強化を図ること。

(4)上記(1)～(3)につき、実施状況及び検証結果の初回報告期限を平成28年1月22日(金)として、書面にて報告すること。以降は、3カ月経過毎を期限とするほか、必要に応じて随時報告を行うこと。

平成28年4月25日

D証券会社(以下「当社」という。)に対する証券取引等監視委員会による検査の結果、法令違反の事実が認められたとして、平成28年4月15日、行政処分を求める勧告が行われました。

当該勧告を受けたことから、本日(4月25日)、当社に対し、金融商品取引法第51条の規定に基づき、以下の行政処分を行いました。

## 1. 勧告の事実関係

### (1) 法人関係情報の管理に不備がある状況

当社においては、株式調査部は、同部に所属するアナリストが上場会社に個別取材を行うなど、上場会社をリサーチし、顧客に対し、アナリストレポート等を提供するほか、ヘッジファンドや運用会社等の顧客に対する株式営業部のリサーチ営業をサポートしている。

株式調査本部長は、アナリストに対し、有意義な情報を顧客に対して直接提供することを指導し、平成27年1月以降は、アナリスト一人当たり1か月に100件という具体的な数値目標を掲げている。実際に、アナリストは、アナリストレポートのほか、電話や電子メール等によって、上場会社から取材等で取得した情報を顧客や営業員に提供したり、上場会社への個別取材における顧客との同行訪問によって顧客と情報を取得・共有したりしている。

また、当社においては、平成27年6月以降、アナリストは自己売買の担当者に対しても顧客と同様に情報の提供を行っている。

アナリストが上場会社から取材等で取得した情報のうち非公表のものには法人関係情報が含まれている可能性があるところ、顧客等に提供する情報の法人関係情報該当性については、アナリスト自身の判断に委ねたまま、株式調査部内においても、コンプライアンス担当者においても、審査がほとんど実施されていなかった。

こうしたことから、平成27年9月から10月までの間においては、少なくとも5件の法人関係情報(うち3件はアナリストレポートに掲載)について、法人関係情報該当性の審査がほとんどなされないまま複数の顧客に提供されていた。

当社における上記(1)のような法人関係情報の管理の状況は、法人関係情報に係る不公正な取引の防止を図るために必要かつ適切な措置を講じていないと認められ、金融商品取引法第40条第2号に基づく金融商品取引業等に関する内閣府令第123条第1項第5号に該当するものと認められる。

### (2) 法人関係情報を提供した勧誘

平成27年9月、アナリストは、上場会社であるC社に対する個別取材において、公表前の半期の連結業績予想(営業利益)に関する法人関係情報(以下「甲社情報」という。)を取得した翌日に、当社営業員1名及び少なくとも1顧客に対し、電話によってC社情報を伝達している。

そして、C社情報の伝達を受けた当該営業員が同日中に、少なくとも33顧客に対し、C社情報をC社から公表される前に提供してC社株式の買付けの勧誘を行っていた。

当社における上記(2)のような株式の買付けを勧誘する行為は、有価証券の売買その他の取引等につき、顧客に対して法人関係情報を提供して勧誘する行為と認められ、金融商品取引法第38条第8号に基づく金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第1項第14号に該当するものと認められる。

## 2. 行政処分の内容

### ○業務改善命令

(1)再発防止策を策定し、これを確実に実施・定着させること。

(2)策定した再発防止策に係る実効性の検証を行うこと。

(注)検証の結果、不十分な項目があった場合には、その理由及びそれに対する改善方針について報告すること。

(3)法令等遵守に取り組む経営姿勢を明確化し、全社的な法令等遵守意識及び健全な企業文化を醸成するなど、経営管理態勢・内部管理態勢の充実 及び 強化を図ること。

(4)上記(1)～(3)につき、実施状況及び検証結果の初回報告期限を平成28年6月3日(金)として、書面にて報告すること。以降は、3か月経過毎を期限とするほか、必要に応じて随時報告を行うこと。

# 米国におけるフェア・ディスクロージャー・ルール(Regulation FD)の規制内容(抜粋)

## PART 243 -- REGULATION FD

§ 243.100 General rule regarding selective disclosure.

(a) Whenever an issuer, or any person acting on its behalf, discloses any material nonpublic information regarding that issuer or its securities to any person described in paragraph (b)(1) of this section, the issuer shall make public disclosure of that information as provided in § 243.101(e):

(1) Simultaneously, in the case of an intentional disclosure; and

(2) Promptly, in the case of a non-intentional disclosure.

(b)(1) Except as provided in paragraph (b)(2) of this section, paragraph (a) of this section shall apply to a disclosure made to any person outside the issuer:

(i) Who is a broker or dealer, or a person associated with a broker or dealer, as those terms are defined in Section 3(a) of the Securities Exchange Act of 1934 (15 U.S.C. 78c(a));

(ii) Who is an investment adviser, as that term is defined in Section 202(a)(11) of the Investment Advisers Act of 1940 (15 U.S.C. 80b-2(a)(11)); an institutional investment manager, as that term is defined in Section 13(f)(5) of the Securities Exchange Act of 1934 (15 U.S.C. 78m(f)(5)), that filed a report on Form 13F (17 CFR 249.325) with the Commission for the most recent quarter ended prior to the date of the disclosure; or a person associated with either of the foregoing. For purposes of this paragraph, a "person associated with an investment adviser or institutional investment manager" has the meaning set forth in Section 202(a)(17) of the Investment Advisers Act of 1940 (15 U.S.C. 80b-2(a)(17)), assuming for these purposes that an institutional investment manager is an investment adviser;

(iii) Who is an investment company, as defined in Section 3 of the Investment Company Act of 1940 (15 U.S.C. 80a-3), or who would be an investment company but for Section 3(c)(1) (15 U.S.C. 80a-3(c)(1)) or Section 3(c)(7) (15 U.S.C. 80a-3(c)(7)) thereof, or an affiliated person of either of the foregoing. For purposes of this paragraph, "affiliated person" means only those persons described in Section 2(a)(3)(C), (D), (E), and (F) of the Investment Company Act of 1940 (15 U.S.C. 80a-2(a)(3)(C), (D), (E), and (F)), assuming for these purposes that a person who would be an investment company but for Section 3(c)(1) (15 U.S.C. 80a-3(c)(1)) or Section 3(c)(7) (15 U.S.C. 80a-3(c)(7)) of the Investment Company Act of 1940 is an investment company; or

(iv) Who is a holder of the issuer's securities, under circumstances in which it is reasonably foreseeable that the person will purchase or sell the issuer's securities on the basis of the information.

(2) Paragraph (a) of this section shall not apply to a disclosure made:

(i) To a person who owes a duty of trust or confidence to the issuer (such as an attorney, investment banker, or accountant);

(ii) To a person who expressly agrees to maintain the disclosed information in confidence; or

(iii) In connection with a securities offering registered under the Securities Act, other than an offering of the type described in any of Rule 415(a)(1)(i) - (vi)

# EUにおけるフェア・ディスクロージャー・ルール(Market Abuse Regulation)の規制内容(抜粋)

## Article 17 Public disclosure of inside information

### 【内部情報の適時開示】

1. An issuer shall inform the public as soon as possible of inside information which directly concerns that issuer.

The issuer shall ensure that the inside information is made public in a manner which enables fast access and complete, correct and timely assessment of the information by the public and, where applicable, in the officially appointed mechanism referred to in Article 21 of Directive 2004/109/EC of the European Parliament and the Council. The issuer shall not combine the disclosure of inside information to the public with the marketing of its activities. The issuer shall post and maintain on its website for a period of at least five years, all inside information it is required to disclose publicly.

This Article shall apply to issuers who have requested or approved admission of their financial instruments to trading on a regulated market in a Member State or, in the case of instruments only traded on an MTF or on an OTF, issuers who have approved trading of their financial instruments on an MTF or an OTF or have requested admission to trading of their financial instruments on an MTF in a Member State.

### 【開示を遅らせることができる場合】

4. An issuer or an emission allowance market participant, may, on its own responsibility, delay disclosure to the public of inside information provided that all of the following conditions are met:

(a) immediate disclosure is likely to prejudice the legitimate interests of the issuer or emission allowance market participant;

(b) delay of disclosure is not likely to mislead the public;

(c) the issuer or emission allowance market participant is able to ensure the confidentiality of that information.

(paragraph 2 以降 略)

### 【フェア・ディスクロージャー・ルール】

8. Where an issuer or an emission allowance market participant, or a person acting on their behalf or for their account, discloses any inside information to any third party in the normal course of the exercise of an employment, profession or duties as referred to in Article 10(1), they must make complete and effective public disclosure of that information, simultaneously in the case of an intentional disclosure, and promptly in the case of a non-intentional disclosure. This paragraph shall not apply if the person receiving the information owes a duty of confidentiality, regardless of whether such duty is based on a law, on regulations, on articles of association, or on a contract.